

中3E5 (底名)

(体温)

慶 (クラス) B C F 他

100

問3 次の(ア)～(エ)の文の( )の中に入れるのに最も適するものを、あとの1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。<10点×4>

(ア) A: What is the ( ) today?

B: It's June 13.

1. date      2. time      3. day      4. year

(イ) I like your bag. Tell me ( ) to buy one.

1. what      2. where      3. which      4. why

(ウ) Ms. Green was looking ( ) Taro. Did you see him?

1. out      2. up      3. of      4. for

(エ) Art is ( ) popular than music at my school.

1. better      2. well      3. more      4. most

問4 次の英文は、図書館に本を借りにきたトム(Tom)と貸し出し係のマミ(Mami)の対話です。

対話文中的(ア)～(エ)の( )内の六つの語の中から五つを選んで正しい順番に並べかえたとき、  
その( )内で3番目と5番目に来る語の番号をそれぞれ答えなさい。(それ一つずつ不要  
な語があるので、その語は使用しないこと。なお、文頭に置く語も最初の文字は小文字で示し  
てあります。)<15点×4>

Tom : Have you read *The Black Mountain* by \*Kevin Chen?

Mami : Yes. He ( 1. many 2. exciting 3. has 4. stories 5. much 6. written ). (ア)

Tom : I see. ( 1. story 2. what 3. the 4. a 5. about 6. is )?

Mami : There was a \*plane crash on the mountain. Only two boys \*survived. They ( 1. to 2. help 3. other 4. others 5. had 6. each ). (イ)

Tom : That sounds good. I'll take it. When ( 1. must 2. it 3. from 4. I 5. bring 6. to ) the \*return counter? (エ)

Mami : Please bring it by Thursday.

Tom : OK. I will.

\* Kevin Chen : ケビン・チェン(人名) plane crash : 飛行機の墜落 survived : 生き残った

return counter : 返却カウンター

検討用英文

1.

2.

3.

4.

# E5 テスト解説

## 問3 適語選択

- (ア) date 「日付」と day 「曜日」の違いに注意しよう。「6月13日です」と答えているので、1の date を選ぶ。全体で What is the date today? 「今日は何日ですか」となる。
- (イ) 文脈から「どこでかばんを買ったらいいのか教えて下さい」という意味になるよう、2を選ぶ。〈tell + 人 + もの〉「人にものを教える[伝える]」の「もの」の部分に〈疑問詞 + to 動詞の原形～〉が使われている。他に show, teach なども同様の形で使える。(例) I showed her how to answer the question. 「私は彼女に、その質問への考え方を示した」／ what や which は後に one がなければ、それぞれ「何を買ったらいいのか」「どれを買ったらいいのか」という意味になるが、前の文とうまくつながらない。why は〈疑問詞 + to 動詞の原形～〉の形では原則使わないので選んではいけない。
- (ウ) 文脈から「グリーン先生はタロウを探していた」という意味になると推測し、4の for を選ぶ。look for ~「～を探す」は重要表現。

### ※重要な「句動詞」

arrive at ~「～に着く」／ get off ~「～(乗り物)を降りる」／ get on ~「～(乗り物)に乗る」／ get to ~「～に着く」／ get up 「起きる」／ give up ~「～をあきらめる」／ hear from ~「～から連絡がある」／ look for ~「～を探す」／ look forward to ~「～を楽しみに待つ」／ look like + 名詞「～のように見える」／ run away 「逃げる」／ take care of ~「～の世話をする」／ turn down ~「～(音量など)を下げる」／ turn off ~「～(電源など)を消す」／ turn on ~「～(電源など)をつける」／ wake up 「目が覚める」など

- (エ) than を含むので、比較級が必要。popular の比較級は more popular となる。

### ※比較級、最上級の作り方

- ① 通常は原級の語尾に、-er, -est をつける。(例) tall 「高い」 - taller - tallest
- ② 語尾が発音しない e → -r, -st をつける。(例) wide 「広い」 - wider - widest
- ③ 語尾が〈短母音 + 子音字〉→ 語尾の子音字を重ねて -er, -est をつける。  
(例) hot 「暑い、熱い、辛い」 - hotter - hottest / big 「大きい」 - bigger - biggest
- ④ 語尾が y → y を i にかえて -er, -est をつける。(例) easy 「簡単な」 - easier - easiest
- ⑤ 語尾が -ful, -ous, -ing → more, most をつける。  
(例) beautiful 「美しい」 - more beautiful - most beautiful  
famous 「有名な」 - more famous - most famous
- ⑥ 3音節(母音を中心とした音のまとまり)以上の単語 → more, most をつける。  
(例) difficult 「難しい」 - more difficult - most difficult
- ⑦ 不規則なもの good 「よい」 - better - best / well 「上手に」 - better - best  
many 「多数の」 - more - most / much 「多量の」 - more - most

## 問4 語順整序

- (ア) many と stories があるので、much が不要語だと推測できる。has written (現在完了) が動詞となり、その後に many exciting stories と続ける。「数量 + 形容詞 + 名詞」の語順を守ること。全体で He has written many exciting stories. 「彼は多くのわくわくする物語をずっと書いています」となる。不要語は much。
- (イ) 次の文が本の内容の説明なので、what と about を用い、What is the story about? 「その物語は何についてですか→その物語はどういうものですか」と組み立てる。すでに話題に出ている物語なので a story としてはいけない。不要語は a. / What is A about? 「A はどういうものですか」
- (ウ) They は物語の中の2人の少年。文の流れから、had to 「～しなければならなかった」(have to の過去形)を用い、help each other 「お互いを助ける→お互いに助け合う」を続ける。each other は「お互い」という意味で代名詞として働く。この時点では others と推測可能。全体で They had to help each other. 「彼らはお互いに助け合わなければなりませんでした」となる。不要語は others。
- (エ) 疑問文なので When must I bring とする。When must I ~? は「いつ私は～しなければなりませんか」という意味。bring A to B で「A を B に持ってくる」という意味になるので、When must I bring it to the return corner? 「いつそれを返却カウンターに持っていくかなければなりませんか」となる。不要語は from。